

ウォールスタットで耐震アピールを

直結I/Fでプレカットデータ活用

ネットイーグル

優位性をアピールする最良の手段と捉え、協議会の要望を受けて開発したウォールスタットとプレカットCADの直結インターフェース（I/F）「ウォールスタット解析データ直結オプション」の普及、改良に力を入れている。

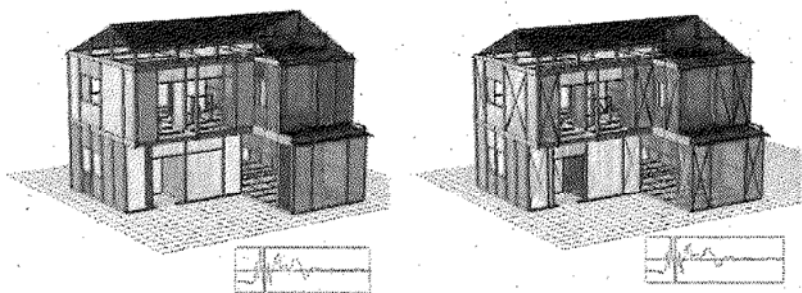
ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、金物工法推進協議会が推進するウォールスタットによる接合部強度の「見える化」こそが金物工法の

昨秋には、①プレカ

ットCADでの耐力壁（面材）入力②接合部ごとの詳細パラメータ

出力③金物2個使用の接合部パラメータ出力④基礎拘束フラグの出力⑤台形耐力壁の出力⑥端末間のウォールスタットデータ受け渡し改善の6項目の新機能を追加した。金物はウォールスタット情報交換サポーターサイトで提供されている金物工法すべてに対応している。ウォールスタットでは、在来工法と金物工法、制振壁のある建物とない建物を並べてシミュレーションし、揺れ方の違いを比較できる。胴差だけに金物工法を使った物件や、金物工法で土台や小屋組みが在来工法の物件などもシミュレーションできる。

金物工法（左）と在来工法で揺れ方の違いを比較できる



このインターフェースを使えば、同社のプレカットCADで入力した金物工法データをウォールスタットに直接渡せるため、再入力の手間なく、耐震シミュレーションができる。 「ウォールスタットはバージョン5で計算時間が各段に短縮され、ますます活用の幅が広がっていく」（祖父江社長）。